

# シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
地歴公民	日本史探究	3	2	文系NP	9

教科書	詳説日本史（山川出版社）	副教材	新詳日本史（浜島書店）

科目の目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力をそなえることを目指す。</p>
-------	--

科目の概要	<p>我が国の歴史の展開について、原始・古代から中世にかけて学び、世界史的な視野に立ち、我が国の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の相互の関連などを考察する活動を通して、現代日本の形成の歴史的過程に対する十分な理解と認識をもつ。</p>
-------	---

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、⑥「受信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「行動力」、⑨「自己管理能力」、⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題 ・プレゼンテーション ・授業中の活動や議論の様子	・課題への取り組み方 ・自主的な学習や探究活動 ・授業中の活動や議論の様子

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 ( 単 元 )	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権  【1学期 中間試験】 5月20日～23日	集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察する。また、小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現する。さらに、推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して考察し、表現する。
	第3章 律令国家の形成 1. 律令国家への道 2. 平城京の時代 3. 律令国家の文化  【1学期 期末試験】 7月1日～5日	天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現する。また、文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現する。さらに、盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現する。
2 学 期	第3章 律令国家の形成 4. 律令国家の変容 第4章 貴族政治の展開 1. 摂関政治 2. 国風文化  【2学期 中間試験】 10月15日～18日	蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現する。また、奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現する。さらに、国際関係の変化などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現する。
	第4章 貴族政治の展開 3. 地方政治の展開と武士 第5章 院政と武士の躍進  【2学期 期末試験】 12月2日～6日	文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現する。また、武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現する。さらに、武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現する。
3 学 期	第6章 武家政権の成立  【3学期 学年末試験】 3月4日～8日	幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現する。また、武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現する。さらに、鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現する。